

北海道

株式会社 MammyPro

業務
効率

WLB

女性活
躍推進

人材
確保

人材の確保と定着率向上につながるテレワーク

(サービス業)

導入後も利便性の向上を図る



経営者
の声

会社設立時から子育て中の女性を積極的に採用してきたため、自然な流れでテレワークを導入しました。私自身、子供がまだ小さく、自宅で仕事をすることも多かったです。経営者自らがテレワーカーとしての働き方を体験したので、社内の浸透もスムーズでした。

代表取締役

阿部 夕子 さん

子供の発熱時などの緊急時利用のほか、集中して仕事ができるメリットなどを社員各自が感じ取り、利用の幅を少しずつ広げていきました。事前に申請書を提出すれば、利用したいときに使えるように利便性の向上も図ってきています。

昨年度は札幌市のテレワーク助成金を利用して、自宅にPC環境がない方も在宅勤務できるように整備。テレワーク導入は、人材確保や定着率の向上につながっています。社外から業務ができるようになり、生産性も向上しました。管理者は出先においても進行状況の確認が可能となり、以前よりもメンバー間のコミュニケーションは増えています。

良いアイデアが生まれることも多い在宅勤務日



従業員
の声

マーケティング事業部や保育事業部などの管理業務に携わっています。子供が急に体調を崩したときなどに、急ぎの案件があったり、自分以外の対応が難しかったりする場合は、会社のパソコンを持ち帰って在宅勤務します。子供がインフルエンザにかかって、数日学校を休まなければならないときも、子供の体調を見ながら自宅で仕事を行えます。

マーケティングマネージャー

中原 道子 さん

また、進捗状況に合わせて、月に1回程度、終日在宅勤務しています。自宅で仕事をする一番のメリットは、集中して作業ができることです。入社時はどうしても電話や来客、他のスタッフとのコミュニケーションで作業が中断されますが、在宅勤務では企画業務で良いアイデアが出せることも多いです。在宅勤務日は、小学校から帰ってきた子供を自宅で迎えられるので、子供は喜びます。終業後はすぐに家庭の時間となり、子供の話をゆっくり聞いてあげるなど、向き合う時間を通常勤務日よりとれています。